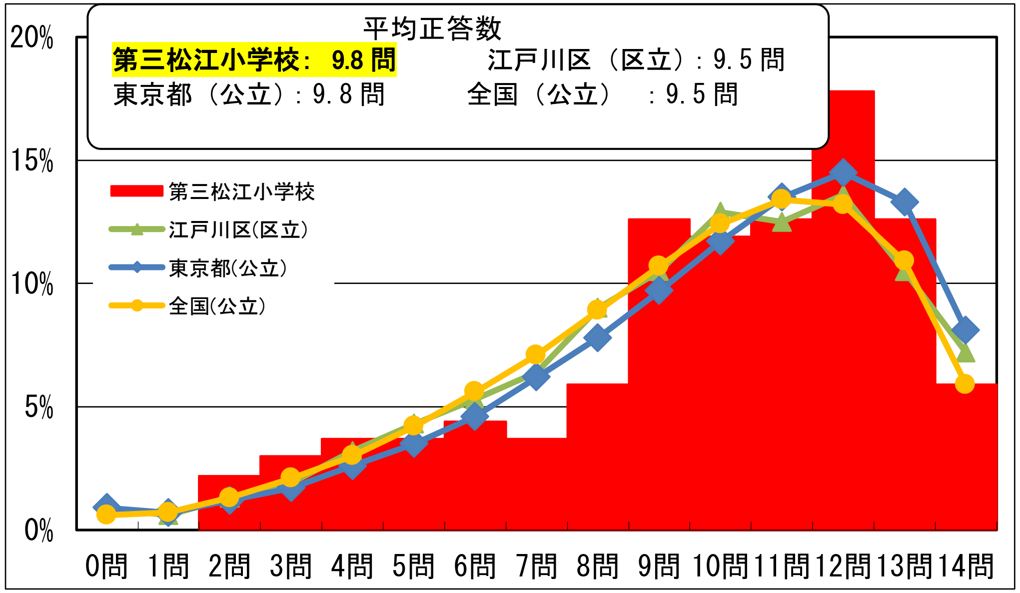
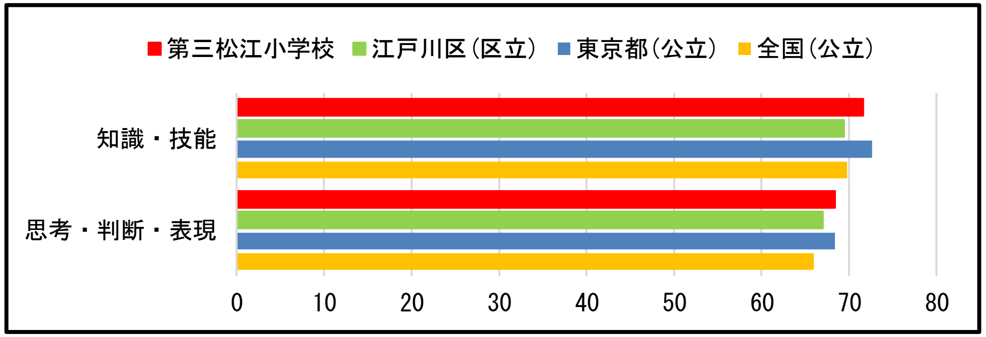
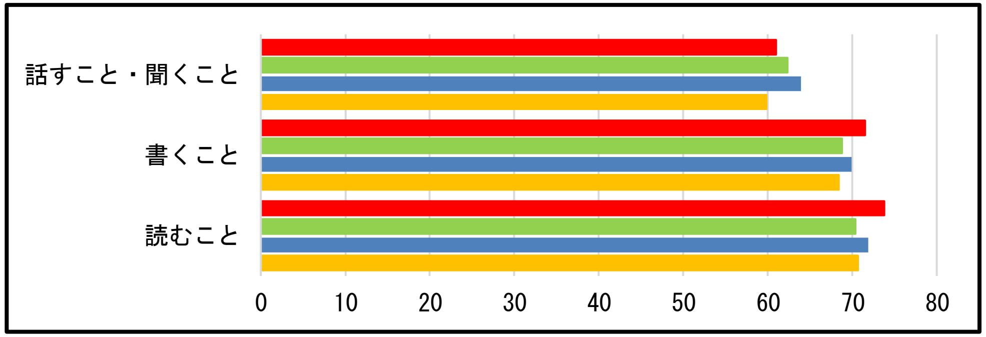
令和６年度　全国学力･学習状況調査結果と改善に向けて【国語】第三松江小学校

正　答　数　分　布



「領 域 別」の 結 果





＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

上位 ←→ 下位

国　語	Ａ層 12～14 問	Ｂ層 10～11 問	Ｃ層 8～9 問	Ｄ層 0～7 問
第三松江小学校	36.3	24.5	18.5	20.7
江戸川区（区立）	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都（公立）	35.9	25.2	17.5	21.4
全国（公立）	30.0	25.8	19.6	24.6

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

【平均正答率の差】

第三松江小学校	70%
江戸川区（区立）	68%
東京都（公立）	70%
全国（公立）	67.7%
都との差	0 ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

・Ａ層が最も多い結果となった。Ｂ層、Ｃ層を中心に、復習を徹底していくことで、都の平均正答率を超えることができると考える。

・知識・技能に関しては、都の平均をわずかに下回った。習得した漢字や文法を、暗記するだけではなく、日常の中で活用する機会を増やす。「話すこと・聞くこと」の領域では、伝えたいことや聞きたいことの中心を捉えられるよう、スピーチの原稿を作成する際に意識しながら指導をする。